

令和 6 年度

事業報告書・収支決算書

公益社団法人福井県シルバー人材センター連合

令和6年度 事業報告

I 概要

令和6年度の県内シルバー人材センター事業の実績は、会員数は3月末現在で7,944人となり前年度より79人減少し、コロナ禍の令和3・4年度の再来となる8,000人を下回った。

契約金額においては全体で約39億円となり、請負分野（▲0.1%）では横ばいであるものの派遣分野で1,983万円（▲2.5%）減少したことにより、全体でも2,151万円（▲0.5%）減と2年連続で前年度より減少となった。

インボイス制度への対応に続き令和7年4月からの新たな契約方式への移行手続きが全センターで進められるなど、シルバー人材センターを取りまく環境が大きく変化してきている中において、国・県・市町等の指導と協力を得ながら、各シルバー人材センターと連携を強化し、次の重点事項を中心に事業展開を図った。

- 1 会員拡大対策等の推進
- 2 「高齢者活用・現役世代雇用サポート事業」を活用した就業機会の拡大
- 3 「公益社団法人」としての事業展開とコンプライアンスの徹底
- 4 重篤事故ゼロを目指した「事故防止対策」と「適正就業ガイドライン」「高齢運転者等に係るガイドライン」に沿った事業の運営
- 5 「高齢者活躍人材確保育成事業」の積極的な推進
- 6 新たな契約方式への円滑な移行に向けた指導、助言
- 7 シルバー事業のデジタル化の推進

区 分		令和6年度	令和5年度	増減率（%）
会員数（人）		7,944	8,023	▲1.0
受注件数（件）	合 計	35,514	36,684	▲3.2
	請負分野	34,644	35,811	▲3.3
	派遣分野	870	873	▲0.3
契約金額（千円）	合 計	3,899,660	3,921,165	▲0.5
	請負分野	3,129,106	3,130,777	▲0.1
	派遣分野	770,554	790,388	▲2.5
就業延人員（人）	合 計	772,209	805,149	▲4.1
	請負分野	638,765	664,083	▲3.8
	派遣分野	133,444	141,066	▲5.4

※ 「契約金額」の額は、百円単位四捨五入の額を表す。

Ⅱ シルバー人材センター事業

1 会員の確保対策

(1) イメージアップに向けた効果的な普及啓発活動の実施

① 普及啓発促進月間（10月）の取組み

ア 「ふくい元気・シルバーフェスタ 2024 イン高浜」

令和6年度「ふくい元気・シルバーフェスタ」については、10月12日（土）高浜町の高浜町文化会館において盛大に開催された。

同会場は福井県の西端ではありましたが、県内各地から県民約700人が参加され、会員数の減少が続いている状況下にあって、シルバー事業の普及啓発にとって大変有意義な一日となった。

イ 「シルバーの日（10月19日）」の普及啓発活動の実施

連合及び15センターでボランティア活動の実施

「シルバーの日」を中心に1,008人の役職員・会員が参加

② 年間を通じた普及啓発活動

ア 機関誌「シルバー連合ふくい第62号」の発行

連合や各シルバー人材センターが取り組んでいる様々な事業活動を紹介した。

（ア）発行時期 10月 1,500部

（イ）会議開催 「機関誌編集委員会」の開催

第1回 令和6年 8月21日

第2回 令和6年10月 4日

イ 福井県が主催する高齢者パネル展に参加

会員が元気にいきいきと就業している姿などをパネルにして展示する事により、シルバー人材センターの魅力を多くの県民に発信

【嶺北地域】

（ア）日 時 令和6年10月17日～31日

（イ）場 所 福井県立図書館ホール

【嶺南地域】

（ア）日 時 令和一年一月一日（中止）

（イ）場 所 ————

ウ 市・町広報誌等に掲載

（ア）6市1町の行政機関広報誌に延32回掲載

エ マスメディアによる広報活動の実施

（ア）新聞広告【会員拡大PR・シルバー事業PR】

・福井新聞 4回掲載（半5段）

” ぷりん 6回掲載

・日刊県民福井 4回掲載（半5段）

・中日新聞 4回掲載（ ” ）

（イ）テレビ広報

・福井放送 （4月～3月の12ヶ月間放映）

・福井テレビ（4月～3月の12ヶ月間放映）

（ウ）ケーブルテレビCM（6月～2月の9ヶ月間放映）

嶺南地域の1市4町を対象にケーブルテレビCM（チャンネル0、MMネット）にて静止画帯広告を放映

・MMネット（美浜町、若狭町）

・チャンネルOTV（小浜市、若狭町、おおい町、高浜町）

オ インターネットを活用したPR活動の推進

（ア）連合ホームページへのPR動画掲載（企業用・一般市民用）

（イ）YouTubeでのPR動画配信

* 料理編 * 接客編 : 大野市SC

* 梱包作業編 : あわら市

カ その他の普及啓発活動

福井県繊維協ビル駐車場横看板広告を活用した年間を通しての広報活動

（2）入会促進対策の推進

① 入会に向けた取組みの強化と積極的な推進

ア 会員募集強化月間（10月、3月）の設定

イ 「会員一人が一人の仲間を増やす」運動の推進

ウ センター活動の紹介による入会促進

エ 「高齢者活躍人材確保育成事業」の活用による入会促進

② 女性会員の入会促進

ア 女性入会説明会等の開催

計3回開催 14名参加 7名入会

イ 女性セミナーの開催

計2回開催 271名参加 8名入会

ウ 大野市SC「ココの～そん」において女性会員がいきいき笑顔で働いているイメージアップ動画のHP掲載及び同動画の12・1月テレビ放映

③ ハローワークと連携した入会促進

ハローワーク事務所内での定期的な入会相談会の実施

④ 退会防止に向けた取組みの強化と積極的な推進

ア 退会会員の理由の分析

イ 未就業就会員への就業相談及び就業機会の確保

- ウ ボランティア活動等社会参加活動の充実
- エ ゴールド会員等非就業会員継続制度の導入

2 事業の拡大対策

(1) 多様な働き方の推進

シルバー派遣事業及び職業紹介事業に限定した高齢法第39条に基づく業務拡大の有効活用に努めた。

各センターからのニーズ調査結果を基に、業種・職種の拡大について要望した結果、福井県知事から業務拡大が認められ、その結果、10⇒16 業種 8⇒19 職種に至った。(県内全域指定の他、地域指定を含む)

(2) シルバー派遣事業の実施

- ① 会 員 数 2, 2 7 9 人 (1. 7 % 増)
- ② 受 注 件 数 8 7 0 件 (0. 3 % 減)
- ③ 就業延人員 1 3 3, 4 4 4 人 (5. 4 % 減)
- ④ 契 約 金 額 7 億 7, 0 5 5 万円 (2. 5 % 減)
- ⑤ 派遣業務に係る自動車運転従事者を対象に適齢診断を実施 (3 3 名)
- ⑥ 「衛生委員会」の開催

毎月開催を原則に産業医の助言を得て開催し、開催内容については各種会議等を通じて情報提供するなど会員の健康維持増進に努めた。

- ⑦ 「シルバー派遣事業のご案内」作成
 - ・企業・団体向けパンフレット (5 0 0 部)
 - ・会員向けパンフレット (2, 5 0 0 部)

(3) 職業紹介事業

- ① 有料職業紹介件数 1 名紹介 (1 事業所)
 1 名就職

(4) ホワイトカラー系職種の就業機会の拡大

- ① 会員の就業ニーズの詳細な把握に努めるとともにマッチングの強化推進
- ② 行政機関への広報依頼や新聞等マスコミを活用した広報の展開

(5) 就業開拓事業の推進

- ① 会員による「1 人 1 仕事開拓活動」を推進支援
- ② 緩和業種・職種の有効活用
- ③ 過去の発注者への訪問支援
- ④ 「高齢者活躍人材確保育成事業」と連携した就業機会の拡大支援

- ⑤ 女性会員が魅力を感じる職域拡大支援
- ⑥ 商工会議所会員に対してシルバー事業PRチラシの送付
- ⑦ 新総合事業の受託支援
- ⑧ 放課後児童クラブ事業の受託支援
- ⑨ 空き家管理対策事業の受託支援
- ⑩ ハローワーク等行政機関や事業主団体等との情報交換による就業機会の拡大

(6) 広域需給調整事業の推進

① 横断歩道停止率の調査	150万円
② えちぜん鉄道駅舎清掃	67万円
③ 選挙候補者ポスター掲示	28万円
④ JR駅構内除雪作業	354万円
⑤ 横断歩道橋・地下道の利用調査	113万円
⑥ 福井大学ゲージ洗浄	192万円
合 計	904万円

3 安全・適正就業の推進

(1) 安全就業の徹底

- ① 傷害事故発生状況 事故件数31件（前年度 9件減少）
- ② 賠償事故発生状況 事故件数46件（前年度 11件増加）
- ③ 安全目標の設定

目標⇒死亡事故0件、入院事故7件以下、通院事故20件以下

実績⇒死亡事故0件、入院事故9件、通院事故22件

- ④ 安全・適正就業スローガンの活用

全 国 ⇒「安全は 無理せず 焦らず 油断せず」

福井県 ⇒「おこたるな 仕事はじめての 危険予知」

- ⑤ 安全・適正就業推進強化月間（7月）の取組み

ア 安全・適正就業促進大会の開催

（ア）日 時 令和6年7月24日

（イ）場 所 福井県国際交流会館

（ウ）参加者 71名

イ 安全・適正就業パトロールの実施

全SCを対象に、連合安全・適正就業委員会委員による安全・適正就業パトロールを実施(7/12～8/8実施)

（ア）15回実施 延30人（委員等）

（イ）作業現場41ヵ所実施(126人対象)

⑥ 安全・適正実務担当者会議の開催

ア ブロック別会議

【福井・坂井地区：坂井市ＳＣ】 令和６年 ６月２７日

【奥越地区：勝山市ＳＣ】 令和６年 ６月１４日

【丹南地区：南越前町ＳＣ】 令和６年 ６月２１日

【嶺南地区：美浜町ＳＣ】 令和６年 ６月２０日

イ 全体会議 令和６年１２月１９日

⑦ 交通事故防止対策に向けた取組み

ア 反射板着用の励行

イ 「テレマティクスタグ」の活用による安全運転診断の実施（８１名参加）

ウ 「派遣業務に係る自動車運転に関する方針」に基づき、（独法）自動車事故対策機構福井支所で、６５歳以後３年ごとに適齢診断を実施（本年度は３３名実施）

⑧ チェックシート付の転倒事故・賠償事故防止チラシや熱中症予防チラシを会員に配付し自己管理を奨励

⑨ 事故要因分析と再発防止対策のフォローアップ及び事故発生状況及び原因等を１ヶ月毎に資料に取りまとめ各センターに情報提供

（２）適正就業の徹底

「適正就業ガイドライン」に沿った事業展開への助言・指導・支援

① 「受注リスト（請負・委任契約）」による再検証の実施

・受注リスト件数 ６，５７３件

・受注リスト再点検件数 １，２５６件

・不適正件数 ３５件

② 発注者用パンフレット等の活用による周知の徹底

③ 安全・適正就業委員会の開催

第１回 令和６年 ７月１０日

第２回 令和６年１１月２０日

第３回 令和７年 ３月１１日

（３）安全・適正就業講習会の支援

各シルバー人材センターが開催する「安全・適正就業講習会」に連合より講師派遣

若狭 令和 ６ 年 ４ 月 ２ ３ 日 １５名受講

若狭（おおい） 令和 ６ 年 ４ 月 ２ ３ 日 １３名受講

南越前町 令和 ６ 年 ５ 月 ２ ９ 日 ４７名受講

越前町 令和 ６ 年 ５ 月 ３ ０ 日 ３０名受講

永平寺町 令和 ６ 年 ７ 月 ３ 日 １４名受講

大野市	令和 6 年 7 月 5 日	40 名受講
坂井市	令和 6 年 10 月 7 日	19 名受講
若狭町	令和 6 年 10 月 9 日	6 名受講
美浜町	令和 6 年 10 月 9 日	16 名受講
高浜町	令和 6 年 12 月 11 日	13 名受講
越前市	令和 7 年 2 月 17 日	54 名受講
永平寺町	令和 7 年 2 月 18 日	27 名受講
福井市	令和 7 年 2 月 28 日	96 名受講
若狭	令和 7 年 3 月 10 日	51 名受講
高浜町	令和 7 年 3 月 13 日	20 名受講
高浜町	令和 7 年 3 月 14 日	40 名受講
坂井市	令和 7 年 3 月 17 日	29 名受講
若狭町	令和 7 年 3 月 19 日	60 名受講

4 交流研修事業の推進

(1) トップセミナーの開催

- ① 日 時 令和 7 年 1 月 22 日
- ② 場 所 織協ビル 10 階 ホール A
- ③ 講 師 福井県消費生活センター 水口相談員
- ④ テーマ 高齢者の消費生活トラブルについて
- ⑤ 参加者 56 名

(2) 職員研修の開催

① 会計・経理担当者研修会

- ア 日 時 令和 7 年 1 月 29 日
- イ 場 所 織協ビル 6 階 会議室
- ウ 講 師 衣目公認会計士事務所 氏原 謙一 氏
- エ テーマ 公益法人会計基準の改正について
- オ 参加者 34 名

② シルバー派遣業務担当者研修会の開催

- ア 日 時 令和 7 年 2 月 18 日
- イ 場 所 織協ビル 6 階 会議室
- ウ 講 師 福井労働局雇用保険監察官、福井県シルバー連合職員
- エ テーマ ・派遣業務にかかる留意事項
・安全衛生について
・雇用保険の適正な手続きについて
- オ 参加者 37 名

③ 若手職員研修会の開催

- ア 日 時 令和6年11月21日
イ 場 所 織協ビル 6階 会議室
ウ 講 師 福井県総務部情報公開・法制課 担当職員
エ テーマ ・個人情報保護について
・意見交換会・グループ討議

オ 参加者 19名

④ 法務研修会の開催

- ア 日 時 令和7年3月24日
イ 場 所 織協ビル 6階 会議室
ウ 講 師 福井県シルバー人材センター連合顧問弁護士 光照良眞 氏
エ テーマ センター業務の法律知識入門
～カスハラ対策と紛争時の泣き寝入り防止のために～

オ 参加者 45名

5 未設置地域対策

池田町に対し、情報提供等を行っているものの、現在のところ設置する考えはない状況

6 組織の強化対策

(1) 行政・全シ協関係機関との連携

- ① 労働局・県との連携
- ② 全シ協との連携
- ③ 北シ協との連携
- ④ 福井県すこやか長寿センターとの連携

(2) 指導・相談体制の確立

- ① ワンストップサービスセンターの構築に向けた相談体制の強化
- ② シルバー人材センター定期指導（5センターで実施）

勝山市シルバー人材センター	令和6年11月19日
敦賀市シルバー人材センター	令和6年11月22日
鯖江市シルバー人材センター	令和6年11月25日
南越前町シルバー人材センター	令和6年11月25日
永平寺町シルバー人材センター	令和6年11月29日
- ③ 福井県公益法人立入検査への立会（5センター）
（大野市SC、あわら市SC、越前市SC、美浜町SC、若狭SC）
- ④ 福井労働局経理定期指導への立会（5センター）

(勝山市ＳＣ、敦賀市ＳＣ、鯖江市ＳＣ、南越前町ＳＣ、永平寺町ＳＣ)

(3) 情報管理体制の強化

- ① 連合ＨＰによる業務・財務状況等の積極的な情報公開の推進
- ② 個人情報保護規程に基づく情報管理体制の強化

(4) 調査研究事業

- ① 業務年報の作成（２００部）１０月発刊
- ② 公共事業受注調査 １０月実施

7 健全な財政基盤を確立

(1) シルバー事業運営検討委員会の開催

第１回 令和６年１０月３１日

第２回 令和７年２月１３日

①第４次中期計画の策定ほか

３月 第４次中期計画の発行（３００部）

(2) 自主財源の確保

- ① シルバー派遣事業、職業紹介事業、広域需給調整事業の実施
- ② 独自事業の開拓支援
- ③ 賛助会員加入促進(賛助会員２１社)
- ④ 市・町の行政機関等について検討

8 各種会議等の開催

(1) 通常総会の開催

① 開催日 令和６年６月２６日

② 場 所 織協ビル １０Ｆ ＡＢホール

(2) 理事会の開催

第１回 令和６年 ６月１８日

第２回 令和６年１０月２８日

第３回 令和７年 ２月２０日

第４回 令和７年 ３月２７日

(3) 理事長会議の開催

令和６年１０月２８日

令和７年 ２月２０日

(4) 事務局長会議の開催

- 第1回 令和6年 6月12日
- 第2回 令和6年10月21日
- 第3回 令和7年 2月 6日

(5) シルバー事業運営検討委員会(再掲)

- 第1回 令和6年10月31日
- 第2回 令和7年 2月13日

(6) 安全・適正就業委員会(再掲)

- 第1回 令和6年 7月10日
- 第2回 令和6年11月20日
- 第3回 令和7年 3月11日

(7) 衛生委員会の開催

- 第1回 令和6年 4月26日
- 第2回 令和6年 5月22日
- 第3回 令和6年 6月26日
- 第4回 令和6年 7月24日
- 第5回 令和6年 8月28日
- 第6回 令和6年 9月25日
- 第7回 令和6年10月23日
- 第8回 令和6年11月27日
- 第9回 令和7年12月25日
- 第10回 令和7年 2月26日
- 第11回 令和7年 3月26日

(8) 機関誌編集委員会(再掲)

- 第1回 令和6年 8月21日
- 第2回 令和6年10月 4日

(9) シルバーフェスタ実行委員会(再掲)

- 第1回 令和6年 5月20日
- 第2回 令和6年 7月26日
- 第3回 令和6年 9月25日

Ⅲ 高齢者活躍人材確保育成事業

高齢者や企業・官公庁退職予定者及び企業・官公庁に対して、シルバー人材センターを積極的に周知・広報するとともに、就業体験や技能講習受講を通じて高齢者・企業双方のシルバー人材センターに対する理解を深めることにより、新規会員の拡大や新たにシルバー人材センターを活用する企業等の増加に努めた。

更に、現にシルバー人材センター会員であるが、新たな分野で活躍を希望している会員や実際の就業に今一步踏み出せない会員に対しても、就業体験及び技能講習を実施することにより、高齢者の就業機会の拡大等に係る支援を行った。

1 事業目標の設定

新規入会会員数 209名以上

2 事業の実績

新規入会会員数 308名（達成率→147.4%）

3 高齢者及び企業等に対する積極的な周知・広報

（1）マスメディアを通じた広報活動の実施（再掲）

① 福井新聞 4回掲載（半5段）

② 日刊県民福井 4回掲載（半5段）

③ 中日新聞 4回掲載（半5段）

④ 会員募集テレビCM

ア 福井放送

イ 福井テレビ

⑤ 会員募集ケーブルテレビCM（嶺南地域の1市4町を対象）

ア 「MMケーブルTV」（美浜町SC、若狭町SC共同で製作放映）

イ 「チャンネルOTV」（若狭SC、若狭町SC、高浜町SC共同で製作放映）

（2）市や町広報誌等に掲載による広報活動の実施

6市1町の行政機関広報誌に延32回掲載

他に、「ファミリー」「ケーブルちゃん」等に16回掲載

（3）会員募集案内周知用チラシ作成・配付による広報活動の実施

6市3町において会員募集案内新聞折込みにより全戸配付→147,525部

（4）企業等周知用チラシ作成・配付による広報活動の実施

会員募集案内チラシ内に企業等（発注者向け）周知案内文も併せて掲載

4 就業体験の実施

シルバー人材センターでの就業に関心のある高齢者を対象に、県下5市・3町で99名の参加を得て22コースで43回就業体験を開催

5 技能講習の実施

シルバー人材センターでの就業を希望している高齢者を対象に、シルバー人材センターの会員となり新たな分野で活躍することに興味、自信を持つことができるよう、県下5市1町で138名の参加を得て7業種17講習を開催

IV シニアチャレンジ応援事業（R6で受託終了）

地域貢献や健康づくり、地域文化活動、地域における世代間交流、おもてなし活動、仲間づくりを目的としたシニアグループの取組みを支援し、高年齢者の社会参加を促進するため事業の周知及び申請受付・審査を行った。

1 事業の実績

活 動 名	申請 件数	活動参加者数	交付決定額(円)
地域貢献活動	10	2,556	1,897,486
健康づくり活動	5	786	948,000
地域文化活動	2	257	400,000
地域における世代間交流活動	9	2,192	600,000
おもてなし活動、仲間づくり	0	0	0

貸 借 対 照 表

令和 7年 6月27日 作成 1/2頁

令和 7年 3月31日現在

001 福井連合

(単位: 円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
普通預金	40,565,326	46,595,586	△6,030,260
未収金	75,267,261	80,430,293	△5,163,032
立替金	665,513	190,428	475,085
前払金	1,102,817	1,376,190	△273,373
流動資産合計	117,600,917	128,592,497	△10,991,580
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			
30周年記念行事積立資産	1,000,000	500,000	500,000
ｼｬﾊﾞｰ事業育成資金積立資産	15,000,000	14,000,000	1,000,000
特定資産合計	16,000,000	14,500,000	1,500,000
(3) その他固定資産			
什器備品	3,054,536	3,148,545	△94,009
什器備品減価償却累計額	0	0	0
* 3,054,536	3,148,545	△94,009	
ソフトウェア	163,350	0	163,350
敷金	1,909,440	1,909,440	0
その他固定資産合計	5,127,326	5,057,985	69,341
固定資産合計	21,127,326	19,557,985	1,569,341
資産合計	138,728,243	148,150,482	△9,422,239
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	76,505,053	94,416,690	△17,911,637
前受金	220	221	△1
預り金	1,989,070	1,539,660	449,410
流動負債合計	78,494,343	95,956,571	△17,462,228
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	78,494,343	95,956,571	△17,462,228
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)

令和 7年 3月31日現在

2/2頁

(単位：円)

[illegible]

正味財産増減計算書

令和 6年 4月 1日から令和 7年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
広域受給調整事業受託収益	9,039,009	6,970,735	2,068,274
広域需給調整事業受託収益	9,039,009	6,970,735	2,068,274
労働者派遣事業収益	770,553,731	790,388,463	△19,834,732
労働者派遣事業収益	770,553,731	790,388,463	△19,834,732
有料職業紹介事業収益	33,958	280,736	△246,778
有料職業紹介事業収益	33,958	280,736	△246,778
シニアチャレンジ応援事業受託収益	1,111,803	3,535,149	△2,423,346
シニアチャレンジ事業受託収益	1,111,803	3,535,149	△2,423,346
シニア人材活躍支援事業受託収益	0	3,475,556	△3,475,556
シニア人材活躍支援事業受託収益	0	3,475,556	△3,475,556
高齢者活躍人材育成事業受託収益	24,655,262	22,377,898	2,277,364
高齢者活躍人材育成事業受託収益	24,655,262	22,377,898	2,277,364
受取会費	3,203,800	3,226,800	△23,000
正会員受取会費	2,853,800	2,846,800	7,000
賛助会員受取会費	350,000	380,000	△30,000
受取補助金等	18,399,000	18,195,000	204,000
受取国庫補助金	9,002,000	8,900,000	102,000
受取県補助金	9,002,000	8,900,000	102,000
受取全シ協支援事業費	395,000	395,000	0
受取負担金	101,016	105,008	△3,992
受取負担金	101,016	105,008	△3,992
雑収益	262,571	349,575	△87,004
受取利息	19,346	387	18,959
雑収益	243,225	349,188	△105,963
経常収益計	827,360,150	848,904,920	△21,544,770
(2) 経常費用			
事業費	816,929,126	838,943,556	△22,014,430
支払会員賃金	601,359,385	617,196,523	△15,837,138
支払会員法定福利費	3,165,530	3,309,412	△143,882
給料手当	30,410,842	28,160,952	2,249,890
法定福利費	4,792,149	4,525,491	266,658
退職給付費用	1,213,284	1,358,016	△144,732
福利厚生費	693,500	685,675	7,825
会議費	50,988	105,221	△54,233
役員等旅費交通費	45,940	62,520	△16,580
旅費交通費	752,562	510,922	241,640
通信運搬費	2,625,949	2,921,089	△295,140
減価償却費	284,638	220,361	64,277
什器備品費	18,700	203,060	△184,360

正味財産増減計算書

令和 6年 4月 1日から令和 7年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
消耗品費	718,361	647,013	71,348
印刷製本費	3,519,198	2,595,637	923,561
光熱水料費	310,912	227,091	83,821
賃借料	7,890,392	7,545,954	344,438
保険料	656,225	659,290	△3,065
諸謝金	2,011,158	1,633,200	377,958
租税公課	63,330,215	64,824,985	△1,494,770
支払負担金	40,000	44,000	△4,000
支払助成金	0	2,583,704	△2,583,704
委託費	10,541,411	11,753,422	△1,212,011
活動拠点委託費	69,147,887	72,488,926	△3,341,039
研修費	23,760	3,960	19,800
教材費	29,025	21,230	7,795
訓練委託費	814,490	973,914	△159,424
支払手数料	557,645	544,060	13,585
支払利息	200,000	188,698	11,302
広報費	11,704,180	12,933,630	△1,229,450
役員報酬	20,800	15,600	5,200
管理費	2,391,035	2,253,251	137,784
役員報酬	223,600	135,200	88,400
給料手当	206,030	203,919	2,111
法定福利費	32,280	31,879	401
退職給付費用	4,212	4,212	0
福利厚生費	0	425	△425
会議費	47,917	46,370	1,547
役員等旅費交通費	158,030	120,780	37,250
旅費交通費	83,520	82,680	840
通信運搬費	51,243	47,154	4,089
減価償却費	111,101	111,101	0
消耗品費	197,174	145,495	51,679
印刷製本費	5,170	0	5,170
光熱水料費	33,095	26,642	6,453
賃借料	624,743	671,753	△47,010
保険料	85,500	85,500	0
租税公課	7,350	9,100	△1,750
支払負担金	283,500	264,500	19,000
委託費	189,200	214,816	△25,616
支払手数料	37,370	31,725	5,645
雑費	10,000	20,000	△10,000
経常費用計	819,320,161	841,196,807	△21,876,646
評価損益等調整前当期経常増減額	8,039,989	7,708,113	331,876
基本財産評価損益等	0	0	0

正味財産増減計算書

令和 6年 4月 1日から令和 7年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	8,039,989	7,708,113	331,876
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	8,039,989	7,708,113	331,876
一般正味財産期首残高	52,193,911	44,485,798	7,708,113
一般正味財産期末残高	60,233,900	52,193,911	8,039,989
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
(1) 収益			
収益計	0	0	0
(2) 費用			
費用計	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ 正味財産期末残高	60,233,900	52,193,911	8,039,989

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

- ・ 什器備品 定額法により減価償却を実施している。
- ・ ソフトウェア 定額法により減価償却を実施している。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込み方式によっている。

(3) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸契約取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

2 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	4,278,474	1,223,938	3,054,536
ソフトウェア	181,500	18,150	163,350
合 計	4,459,974	1,242,088	3,217,886

3 特定資産の増減額及び残高

特定資産の増減額及び残高は次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増減額	当期末残高
特定資産			
30周年記念行事積立資産	500,000	500,000	1,000,000
シルバー事業育成資金積立資産	14,000,000	1,000,000	15,000,000
合 計	14,500,000	1,500,000	16,000,000

4 特定資産の財源の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正 味財産からの 充当額)	(うち一般正 味財産からの 充当額)	(うち負債に 対応する額)
特定資産				
30周年記念行事積立資産	1,000,000	0	1,000,000	0
シルバー事業育成資金積立資産	15,000,000	0	15,000,000	0
合 計	16,000,000	0	16,000,000	0

5 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増減額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表 上の記載区 分
受取補助金等						
高齢者就業機会確保事業費等補助金	国	0	5,467,000	5,467,000	0	—
雇用開発支援事業費等補助金	国	0	3,535,000	3,535,000	0	
シルバー就業支援事業補助金	県	0	9,002,000	9,002,000	0	
全シ協支援事業費	全シ協	0	395,000	395,000	0	
		0	18,399,000	18,399,000	0	

付属明細書

1 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記、記載のとおり

2 引当金の明細

該当なし

財 産 目 録

令和7年3月31日

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的		金 額	
			使用目的等	使用事業		
(流動資産)						
	普通預金 40,565,326	普通預金 福井銀行本店	運転資金	法人管理	19,942,267	
		普通預金 福井銀行本店	運転資金	シルバー事業	2,699,606	
		普通預金 福井銀行本店	運転資金	高齢者活躍人材 確保育成事業	937,771	
		普通預金 福井銀行本店	運転資金	シルバー派遣事業	15,570,453	
		普通預金 福井銀行本店	運転資金	公益目的事業 預り金	1,415,229	
	未 収 金 75,267,261	福井大学他	契約金額等	シルバー事業 (広域事業)	213,664	
		JA福井県他	契約金額等	シルバー事業 (派遣事業)	68,208,899	
		JA福井県他	契約金額等	法人会計	6,844,698	
	立替金 665,513	福井労働局長	労働保険料 (個人負担分)	シルバー事業	177,745	
			労働保険料 (個人負担分)	シルバー事業 (派遣事業)	487,768	
	前払金 1,102,817	トヨタレンタリース福井	車両リース料(4月分)	シルバー事業	42,900	
		全福サービス	令和7年度役員賠償責任保 険料	法人会計	87,000	
		全福サービス	令和7年度サイバー・個人情 報漏えい保険料	法人会計	31,980	
		福井労働局	労働保険料	シルバー事業 (派遣事業)	940,937	
	流動資産合計					117,600,917
	(固定資産)					
特定資産	シルバー事業育成資 金積立資産	普通預金 福井銀行本店	シルバー事業育成資金としての積立資産であり、 資産取得資金として管理されている預金		15,000,000	
	設立30周年記念行 事積立資産	普通預金 福井銀行本店	設立30周年記念行事に係る費用の積立資産 であり、資産取得資金として管理されている預金		1,000,000	
その他 固定資産	什器備品 3,054,536	電話器	公益目的財産であり、シル バー事業に使用している。	シルバー事業	1	
		事務所机	公益目的財産であり、シル バー事業に使用している。	シルバー事業	300,377	
		事務所机	公益目的財産であり、シル バー事業に使用している。	シルバー事業	314,068	
		ストライプル	公益目的財産であり、シル バー事業に使用している。	シルバー事業	270,910	
		シュレッダー	公益目的財産であり、シル バー事業に使用している。	シルバー事業	420,000	

		データプロジェクター	公益目的財産であり、シルバー事業に使用している。	シルバー事業	162,800
		カメラスピーカーフォン	公益目的財産であり、シルバー事業に使用している。	シルバー事業	157,373
		勤怠端末	公益目的財産であり、シルバー事業に使用している。	シルバー事業	120,780
		耐火金庫	法人会計財産であり、法人会計に使用している。	法人会計	193,600
		システム収納(書庫)	法人会計財産であり、法人会計に使用している。	法人会計	122,723
		システム収納(書庫)	法人会計財産であり、法人会計に使用している。	法人会計	259,054
		システム収納(書庫)	法人会計財産であり、法人会計に使用している。	法人会計	645,558
		会長机	法人会計財産であり、法人会計に使用している。	法人会計	87,292
	ソフトウェア 163,350	電子請求システム 連携アプリ	公益目的財産であり、シルバー事業に使用している。	シルバー事業	163,350
	敷金 1,909,440	事務所敷金	法人会計財産であり、法人会計に使用している。	法人会計	1,909,440
固定資産合計					21,127,326
資産合計					138,728,243
(流動負債)					
	未払金 76,505,053	活動拠点委託費	シルバー事業(広域)に供する業務委託料等の未払金額		892,978
		郵便代	シルバー事業(職業紹介)に供する郵便代の未払金額		140
		支払会員賃金等	シルバー事業(派遣)に供する業務委託料等の未払金		74,170,153
		職員給与等	シルバー事業に供する職員給与等の未払金		358,866
		消費税等	シニアチャレンジ事業に供する消費税等の未払金		44,933
		業務委託料返還等	高齢者活躍人材確保育成事業に供する業務委託料等の未払金		1,008,611
		システム利用料等	法人管理に供する業務委託料等の未払金		29,372
	前受金 220	派遣料	超過入金	シルバー事業 (派遣事業)	220
	預り金 1,989,070	職員源泉税他	職員等からの源泉税、社会保険料等	シルバー事業等	1,987,390
		役員源泉税	役員からの源泉税	法人管理	1,680
流動負債合計					78,494,343
負債合計					78,494,343
正味財産					60,233,900